

令和6年7月9日

盛岡都市圏地域公共交通計画 (実施施策(案)等)について(協議)

本日協議いただきたい内容

【報告】

- 第4回公共交通会議における主な意見への対応について
- 基本理念、基本方針及び目標の修正について
- これまでの3市町の個別計画の目標指標について
- 第3回ワーキンググループにおける主な意見について(別紙)

【協議】

- 都市圏計画における目標指標(案)について
- 都市圏計画における施策の分類・方向性について
- 都市圏実施施策と市町実施施策の分類の考え方について
- 都市圏実施施策と市町実施施策の分類について
- 実施施策のイメージについて
- 都市圏計画への実施施策の記載イメージについて
- 都市圏計画構成(案)について
- 今後の計画策定スケジュールについて

【報告】第4回公共交通会議における主な意見への対応について

- ・第4回盛岡都市圏地域公共交通会議（令和6年3月26日開催）において挙げた意見については、以下のように対応する。

対応方針

意見① 基本理念：「つながる」より「つなげる」の方が相応しい（谷本委員、鈴木委員）

回答 基本理念について、『**つながる**・いかす・ささえる 持続可能で使いやすい交通体系の実現』から、『**つなげる**・いかす・ささえる 持続可能で使いやすい交通体系の実現』に変更し、**能動的な印象を受けるように修正する**。併せて、概念図の記載内容も修正する。

意見② 盛岡都市圏の課題：「住民意識の改善」の表現は、
住民に誤解を与えないように修正すること（吉岡委員）

回答 住民意識・参画における課題として「（省略）**住民意識の改善**や積極的な関係性の構築が必要」としていたものを「（省略）**住民意識の醸成**や積極的な関係性の構築が必要」と修正し、誤解のないようにする。

意見③ 基本方針④・目標④：具体度と抽象度のバランスが悪いため修正すること（吉岡委員）

回答 基本方針④「**みんなで守り育てる地域と公共交通の実現**」としていたものを、**他の基本方針と具体度を合わせて「地域と利用者の連携・協働による公共交通の推進**」に修正する。
目標④「地域に合った望ましい交通行動の普及・定着」については、新たな基本方針及び他の目標と具体度と抽象度のバランスは合っているため、そのままとする。
この修正と併せて、基本方針③「**3市町・交通事業者・多様な関係者の枠を超えた施策展開**」及び目標③「**盛岡都市圏の様々な枠組みを超えて参画・連携できる体制の構築**」についても、同じ表現が連続することから、設定の意味が変わらないように基本方針③「**盛岡都市圏の多様な関係者による施策展開の実現**」及び目標③「**従来の取組主体の枠組みを超えて参画・連携できる体制の構築**」に修正する。

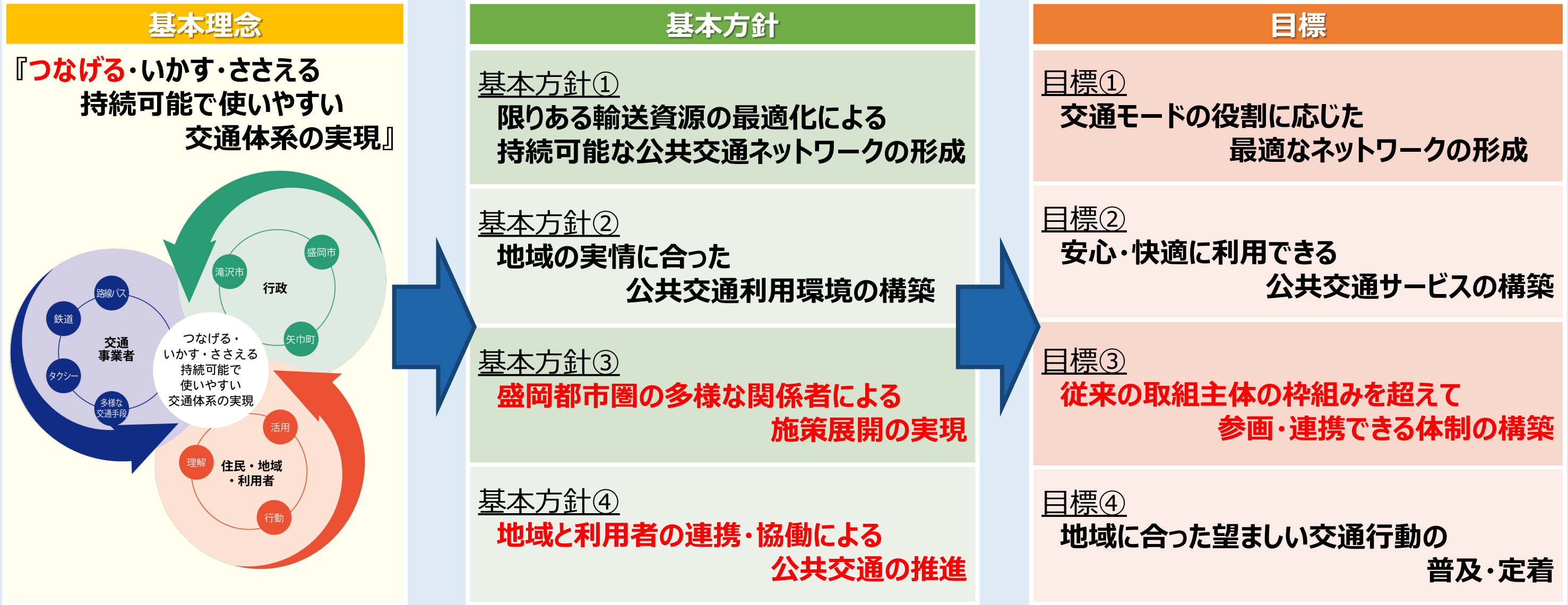
意見④ ネットワーク図：現状と将来の比較があれば分かりやすい（今委員）

回答 具体的なネットワーク図の調整が完了した段階で、**現況と将来のネットワークを比較できるように示す**。
（計画案においても比較できるネットワーク図を掲載予定である。）

【報告】基本理念、基本方針及び目標の修正について

- 公共交通の課題の整理内容及び第4回公共交通会議における意見を踏まえ、**基本理念、基本方針及び目標**を以下の通り修正した。

公共交通の課題			
公共交通ネットワーク における課題	公共交通サービスにおける課題	施策実施における課題	住民意識・参画における課題
盛岡都市圏の骨格を支え、まちの 魅力向上とともに持続可能な公共 交通ネットワークへの転換が必要	移動需要やニーズに対応した 公共交通サービスの維持・向上や 公共交通を持続させていくために 必要な費用負担等のあり方の構築 が必要	関係者間の枠組みを超えた施策 展開とともに、データ等に基づいた 公共交通の改善が必要	公共交通が交通手段の選択肢 となるために 住民意識の醸成 や 積極的な関係性の構築が必要



【報告】これまでの3市町の個別計画の目標指標について

- ・ 3市町の計画で示している目標及び指標（目標値・実績）は次の通りである。
- ・ 目標指標のうち、都市圏計画と整合のある指標（青塗りつぶし）について、参考として令和5年度の実績値を整理した。

盛岡市（～令和6年度）

目標	指標	目標値 R6	実績 R5
計画目標① 公共交通の満足度の向上			
	①バス移動の満足度	利用する： 67. 0% 利用しない： 17. 3%	※未実施
	②普段公共交通を利用して いる人の割合	通勤・ 通学： 17. 5% 買い物： 4. 9% 通院： 16. 1%	
	③市内各地区と 中心部との 連絡時間	盛岡東口～0. 95 盛岡BC～0. 97	
	④ノンステップバスの導入 率	40%	
	⑤多言語化案内されたバス 路線数	11 路線+主要バス停	
計画目標② 居住誘導区域内の利便性の向上			
	⑥居住誘導区域内のバス利 用圏域人口	36, 326 人以上	
計画目標③ 公共交通の利用拡大・ 運行効率の向上			
	⑦公共交通の年間利用者数	鉄道： 12百万人 バス： 16百万人 タクシー： 3. 8百万人	(R4) 10百万人 10百万人 2. 4百万
	⑧路線バスの運行キロあた りの利用者数	1. 37 人以上	
計画目標④ 公共交通網の機能の確保			
	⑨盛岡バスセンターの乗車 人数	1. 2 人以上	3. 1人
	⑩小規模需要対応型交通の 導入数	1 地区	
計画目標⑤ 公共交通と市民の関わり の増加			
	⑪市民や地域が公共交通に ついて考える 機会の数	5 回	
	⑫市民と 交通事業者を 交え た意見交換会の開催数	2 回	

滝沢市（～令和6年度）

目標	指標	目標値 R6	実績 R5
基本目標1 新市の「 まちづくり 」を支える新 たな交通網の形成			
	公共交通が便利で利用しや すいと思っている割合	31. 8%	30. 6%
	乗り換え・ 乗り継ぎに対す る満足度	7. 8%	
基本目標2 誰でも・ いつでも 安心して利用で きる交通環境の構築			
	案内等の情報発信方法に対 する満足度	21. 1%	
	停留所・ 待合所の快適性に 対する満足度	18. 8%	
基本目標3 地域の特徴・ 特性に応じた交通 サービスの提供			
	市民における公共交通の利 用割合	26. 4%	※未実施
	外出時の公共交通の利用割 合	16. 2%	※未実施
基本目標4 協働による持続可能な交通の仕組 みづくり			
	各主体と連携した交通サー ビスの実施件数	11件	
	地域と協働した公共交通維 持に向けた取組件数	9件	

矢巾町（～令和9年度）

目標	指標	目標値 R9	実績 R5
目標1-1 公共交通カバー圏人口を維持			
	地域公共交通の人口カバー率	100%	100%
	町営バスの年間利用者数	循環バス： 17. 3千人 乗合バス： 1. 2千人	21. 6千人 1. 0千人
	町営バスの年間収支率	循環バス： 20% 乗合バス： 20%	29. 8% 21. 1%
	利用者1 人当たりの町負担額	循環バス： 475円 乗合バス： 1, 150円	354円 1, 557円
目標1-2 公共交通に対する満足度向上			
	公共交通全般に対する満足度	70%	
	循環バス利用者の満足度	67%	
	乗合バス利用者の満足度	95%	
目標2-1 交通結節点（ 矢幅駅 ）の利便性を向上			
	矢幅駅における 電車乗者数	2, 900人	※確認中
	待合施設の環境改善や情報提 供の取組みの実施件数	3 件	
	循環バスの乗降者数	16. 5千人	※確認中
	乗合バスの乗降者数	450人	400人
	路線バスの乗降者数	110人	103人
目標2-2 乗り継ぎ時間を短縮させ、利便性を向上			
	電車⇒バス（ 医大方面 ）の乗 り継ぎ時間の短縮	100%	
	7～10時台の電車⇒バス（ 医大 方面 ）の乗り継ぎ時間の短縮	70%	
目標3-1 公共交通の認知度を向上			
	矢巾町運行バスの認知度	35%	
目標3-2 公共交通への意識改善や利用者の増加			
	公共交通を利用する意向を 持った人の割合	※5種類あり 割愛	
目標4 地域公共交通サービスの新施策の活用			
	新施策の導入	1 つ以上	

【協議】都市圏計画における目標指標（案）について

- ・目標指標（案）について、次の通り設定した。
- ・「目標設定方針」において**赤字**で示している「減少」は、**人口減少による利用者減少を想定した場合の方針**である。

目標① 交通モードの役割に応じた最適なネットワークの形成

指標	測定方法	現状値	目標値設定方針
(1) 交通結節点の乗降客数 【モニタリング指標/毎年算出】	交通結節点9か所（盛岡市：6、滝沢市：2、矢巾町：1）の年間利用者数の合計値 ・対象：盛岡市：（JR）盛岡/岩手飯岡（IGR）青山/厨川/好摩（バス）盛岡BC 滝沢市：（IGR）滝沢/巢子 矢巾町：（JR）矢幅	※確認中	維持or 減少
(2) 公共交通の利用者数 【アウトカム指標/標準/毎年算出】	①鉄道 都市圏内の駅9か所（盛岡市：6、滝沢市：2、矢巾町：1）の年間乗車人員の合計値 ・対象：盛岡市：（JR）盛岡/岩手飯岡（IGR）青山/厨川/渋民/好摩 滝沢市：（IGR）滝沢/巢子 矢巾町：（JR）矢幅	※確認中	維持or 減少
	②バス 都市圏内を走行する路線バス及びコミュニティバスの年間利用者数の合計値	※確認中	維持or 減少
	③ハイヤー・タクシー 都市圏内で走行するハイヤー・タクシーの年間利用者数の合計値 ※「現状値」で示す数値は、現時点では岩手中央タクシー分を含めていない。	3,193千人	維持or 減少
(3) 広域幹線路線の平均乗車密度 【アウトカム指標/毎年算出】	補助対象路線の平均乗車密度 ※補助対象路線が変更になった場合の対応が必要。指標とする路線の選択が重要となる。	※確認中	増加

目標② 安心・快適に利用できる公共交通サービスの構築

指標	測定方法	現状値	目標値設定方針
(1) サービスレベル別利用圏人口 【アウトプット指標/計画中間・更新時算出】	サービスレベル別の公共交通利用圏人口（鉄道駅800m圏内・バス停等300m圏内） ・サービスレベルを運行頻度に応じて区分し、鉄道駅・バス停から公共交通利用圏内に居住する人口を区分ごとに測定する。	※確認中	維持or 減少
(2) 公共交通利用者の満足度 【アウトカム指標/計画中間・更新時算出】	公共交通に係るアンケートにおいて、設問「現在の公共交通サービスを使いやすいと思いますか？」に対して「そう思う」「ややそう思う」と回答した者の割合	29.6%	増加

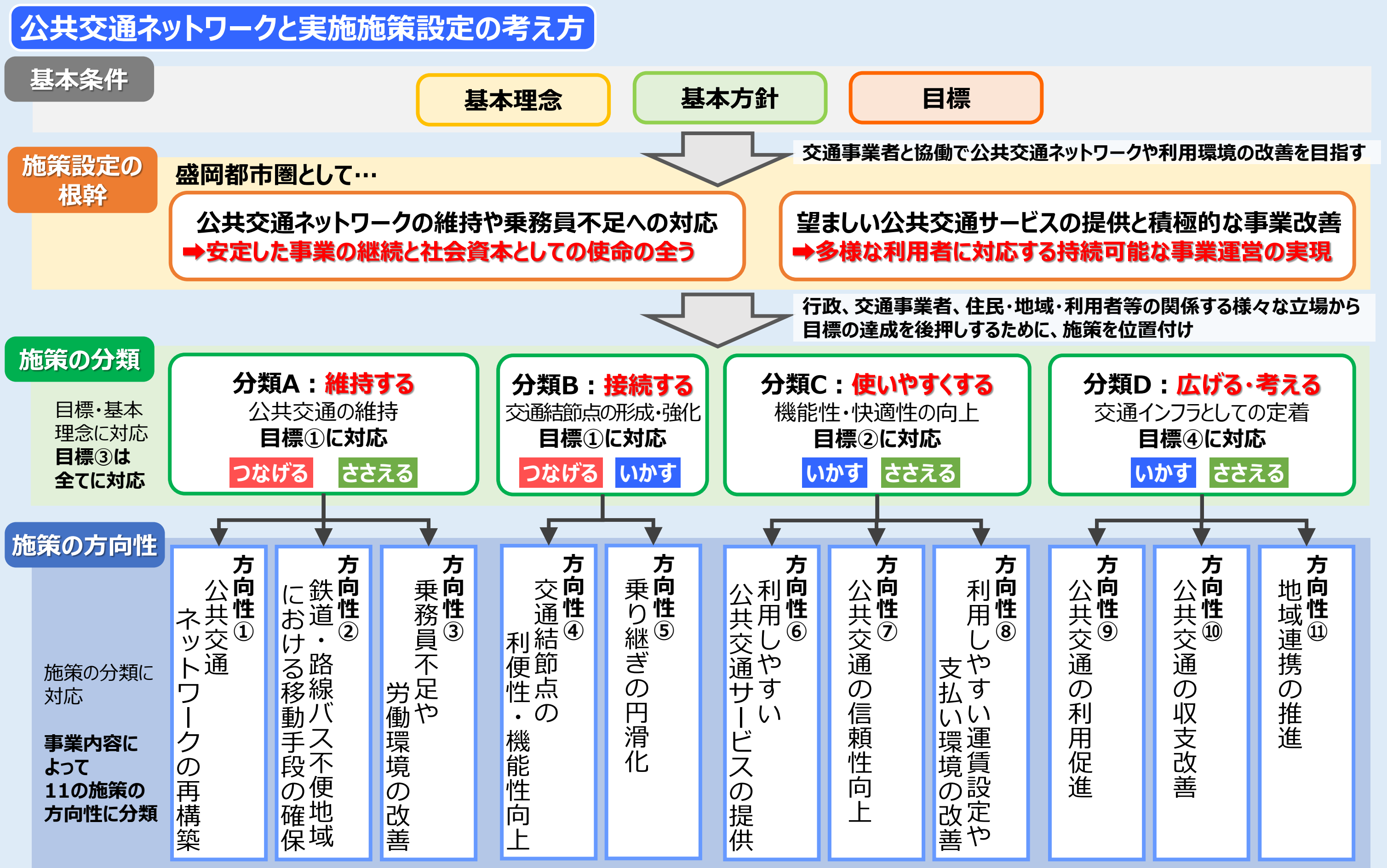
目標③ 従来の取組主体の枠組みを超えて参画・連携できる体制の構築

指標	測定方法	現状値	目標値設定方針
(1) 3市町連携した施策実施数 【アウトプット指標/毎年算出】	3市町が連携して実施する施策のうち実施状況が「実施」「完了」に位置付けられる施策の数 ・対象範囲が「都市圏」に位置付けられる施策を対象とする。	0	増加
(2) 公共交通の収支率 【アウトカム指標/標準/毎年算出】	路線バス・コミュニティバス・鉄道の運行にかかる収入額から支出額を除いた数値 ・収入額を「運賃収入額、運賃外収入額（広告費等）」、支出額を「運行経費（人件費/燃料費/維持修繕費/諸経費/減価償却費）」とする。 ※バスについては、路線・エリアを区分するか検討。事業者がどのようなデータが出しやすいのかによって調整。	※確認中	増加
(3) 公共交通への公的資金投入額 【アウトカム指標/標準/毎年算出】	3市町で公共交通に投入した公的資金の合計金額	※確認中	維持or 減少

目標④ 地域に合った望ましい交通行動の普及・定着

指標	測定方法	現状値	目標値設定方針
(1) 公共交通の関心度 【アウトカム指標/計画中間・更新時算出】	公共交通に係るアンケートにおいて、設問「盛岡市バスの日まつり、たきざわのりものフェスタ等のイベントの認識」に対して「知っている」と回答した者の割合	25.8%	増加
(2) 公共交通分担率 【アウトカム指標/推奨/計画中間・更新時算出】	公共交通に係るアンケートにおいて、設問「通勤・通学時、自宅からの交通手段」に対して「鉄道（JR・IGR）」「路線バス」「市町で運行するバス等」と回答した者の割合	行き27.0% 帰り28.5%	増加

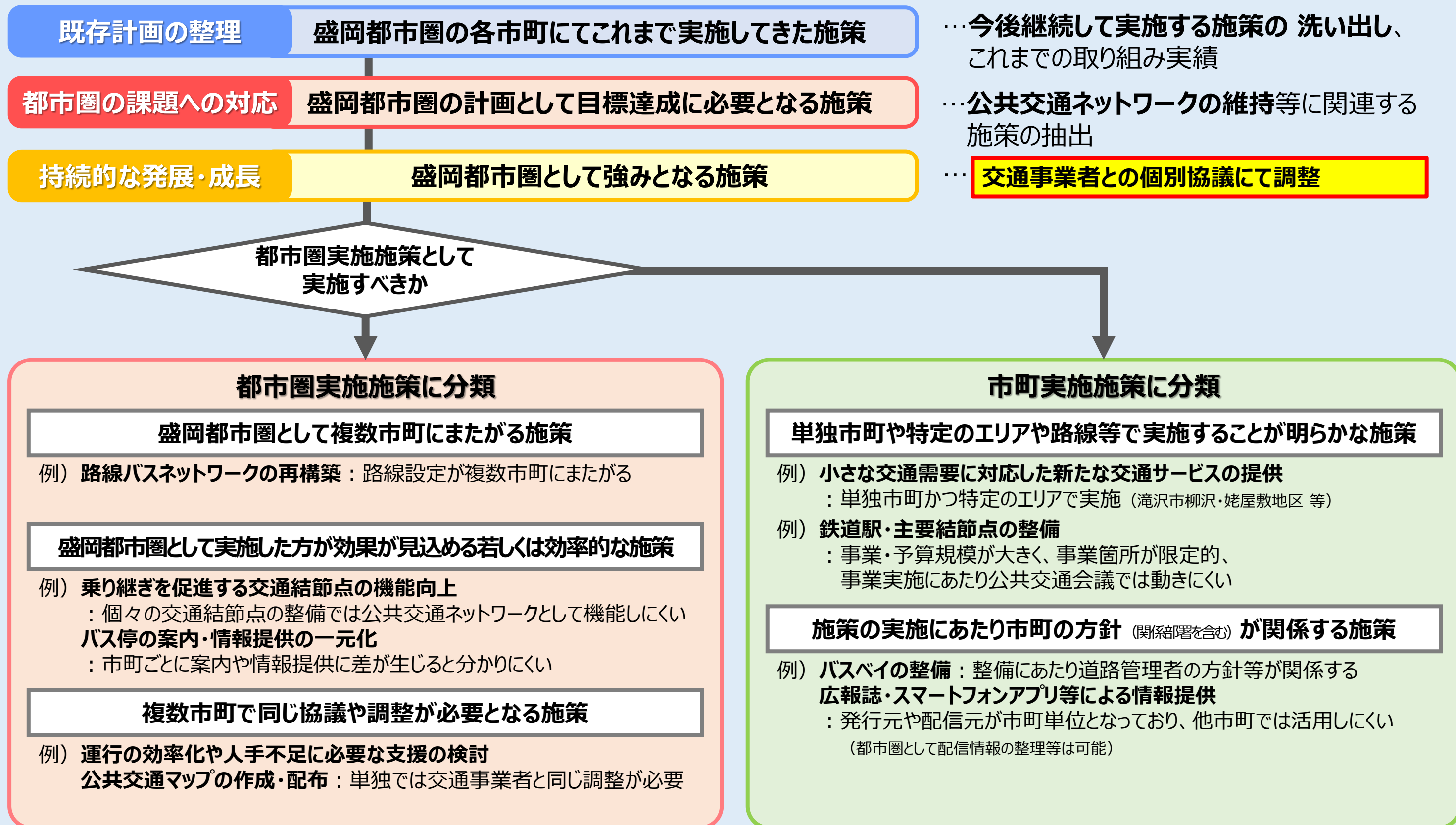
【協議】都市圏計画における施策の分類・方向性について



【協議】都市圏実施施策と市町実施施策の分類の考え方について

- 都市圏実施施策と市町実施施策の分類にあたり、以下の考え方に基づき実施事業を分類した。

都市圏実施施策と市町実施施策の分類の考え方

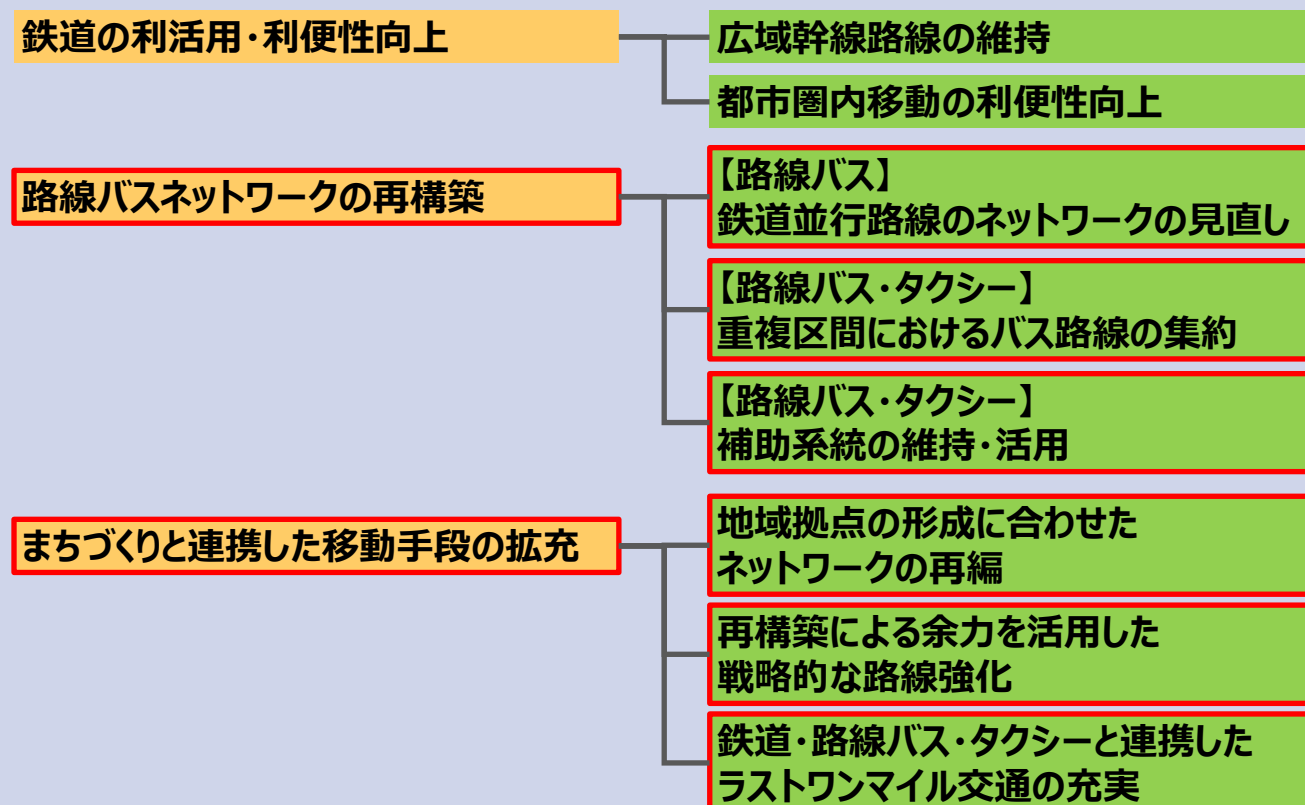


【協議】都市圏実施施策と市町実施施策の分類について①

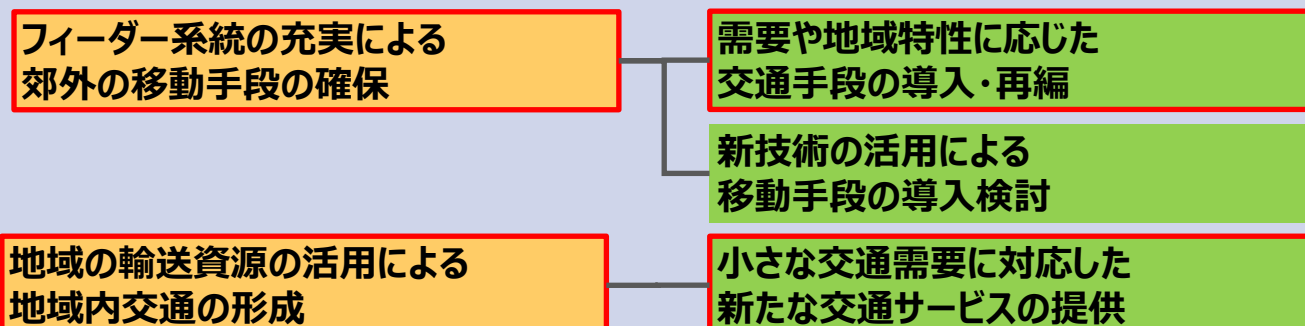
- 目標に対応する4つの施策の分類と類似する事業から11の施策の方向性として、都市圏実施施策と市町実施施策を整理した。

【分類A：維持する】公共交通の維持

①公共交通ネットワークの再構築



②鉄道・路線バス不便地域における移動手段の確保

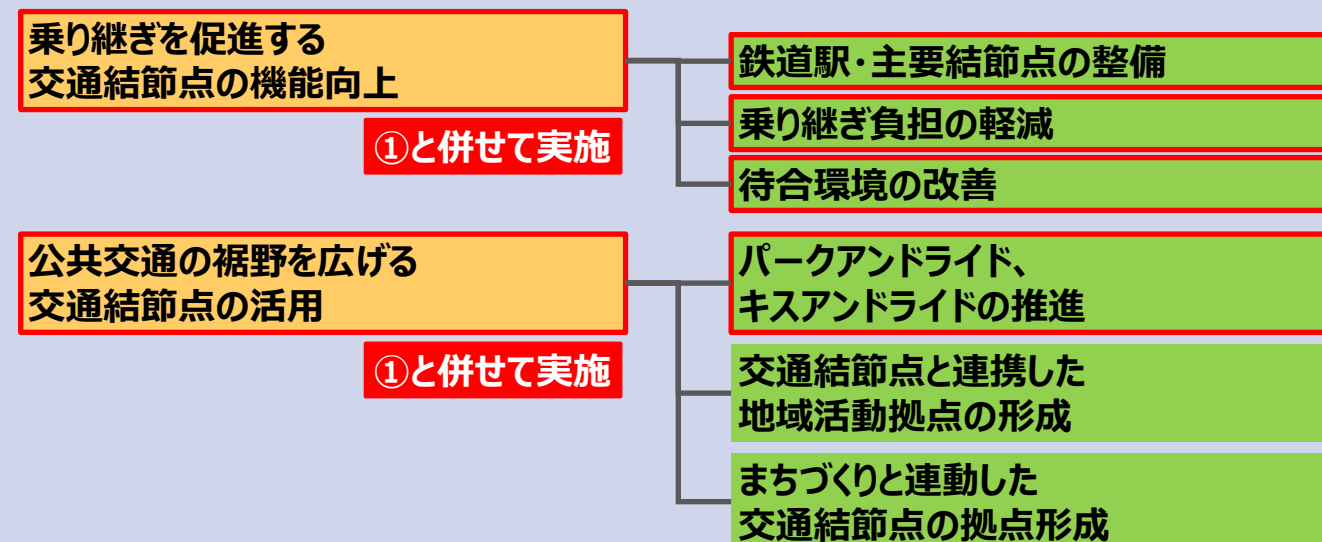


③乗務員不足や労働環境の改善

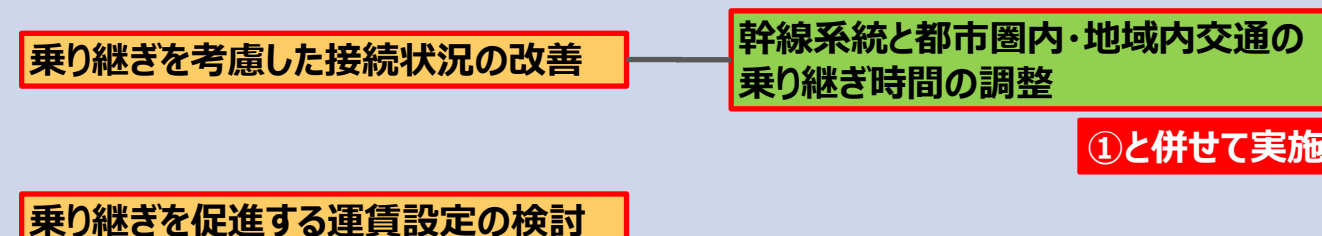
- 運行の効率化や人手不足に必要な支援の検討
- 乗務員の処遇・労働環境改善に向けた支援の検討

【分類B：接続する】交通結節点の形成・強化

④交通結節点の利便性・機能性向上



⑤乗り継ぎの円滑化



凡例 ：施策の方向性 ：都市圏実施施策 ：市町実施施策 ：地域公共交通利便増進事業に含まれ得る施策

【協議】都市圏実施施策と市町実施施策の分類について②

- 目標に対応する**4つの施策の分類**と類似する事業から**11の施策の方向性**として、都市圏実施施策と市町実施施策を整理した。

【分類C：使いやすくする】機能性・快適性の向上

⑥利用しやすい公共交通サービスの提供

鉄道駅・バス停の更新・整備

バス停名称等の統一

利用しやすいダイヤ設定への見直し

バス停の案内・情報提供の一元化

①と併せて実施

フィーダー系統のサービス改善

デマンド交通における
乗降場所の設定・検討

⑦公共交通の信頼性向上

定時性の改善

バスベ이의整備

車両の更新

①と併せて実施

観光に利用しやすい二次交通の充実

鉄道駅・バス停における
観光客への対応・多言語化

⑧利用しやすい運賃設定や支払い環境の改善

キャッシュレス決済の導入・普及拡大

①と併せて実施

交通事業者への負担が少ない
キャッシュレス決済の検討

キャッシュレス決済導入に伴うデータの
取得・分析の実施

新たな運賃体系の検討

1日乗車券やサブスク方式の導入検討

高齢者向けの運賃制度の継続・検討

生活交通を支える運賃の検討

【分類D：広げる・考える】交通インフラとしての定着

⑨公共交通の利用促進

公共交通に関する情報の周知

利用者の属性や利用度に合わせた
情報提供の実施

広報誌・スマートフォンアプリ等による
情報提供

公共交通マップの作成・配布

パーソナル公共交通マップ
・マイ時刻表の作成

公共交通関連イベントの積極的な活用

通勤・通学移動における公共交通利用の促進

国・県・公的団体に対する公共交通利用の働きかけ

⑩公共交通の収支改善

公共交通におけるサポーター制度の導入検討

車両広告・ラッピングの募集

ネーミングライツの導入検討

⑪地域連携の推進

住民との意見交換会の実施

地元大学・高校と連携した公共交通
施策の検討

学生アルバイトの雇用

公共交通セミナーの開催

凡例 ：施策の方向性 ：都市圏実施施策 ：市町実施施策 ：地域公共交通利便増進事業に含まれ得る施策

【協議】実施施策のイメージについて①

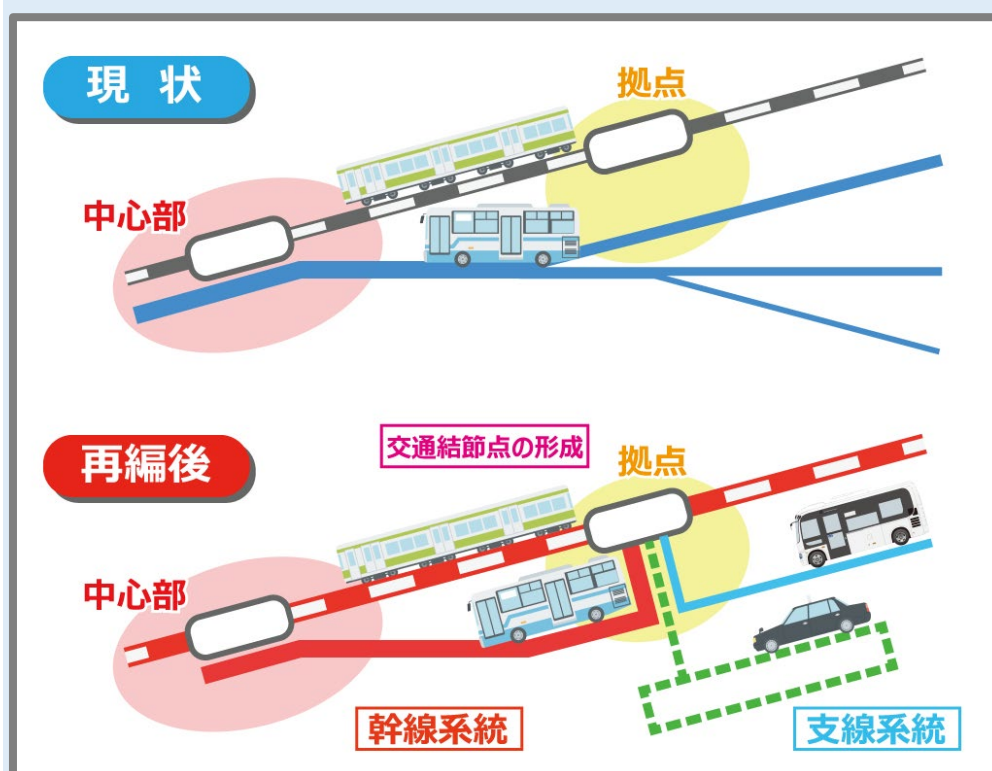
①公共交通ネットワークの再構築

地域公共交通利便増進事業として実施を検討

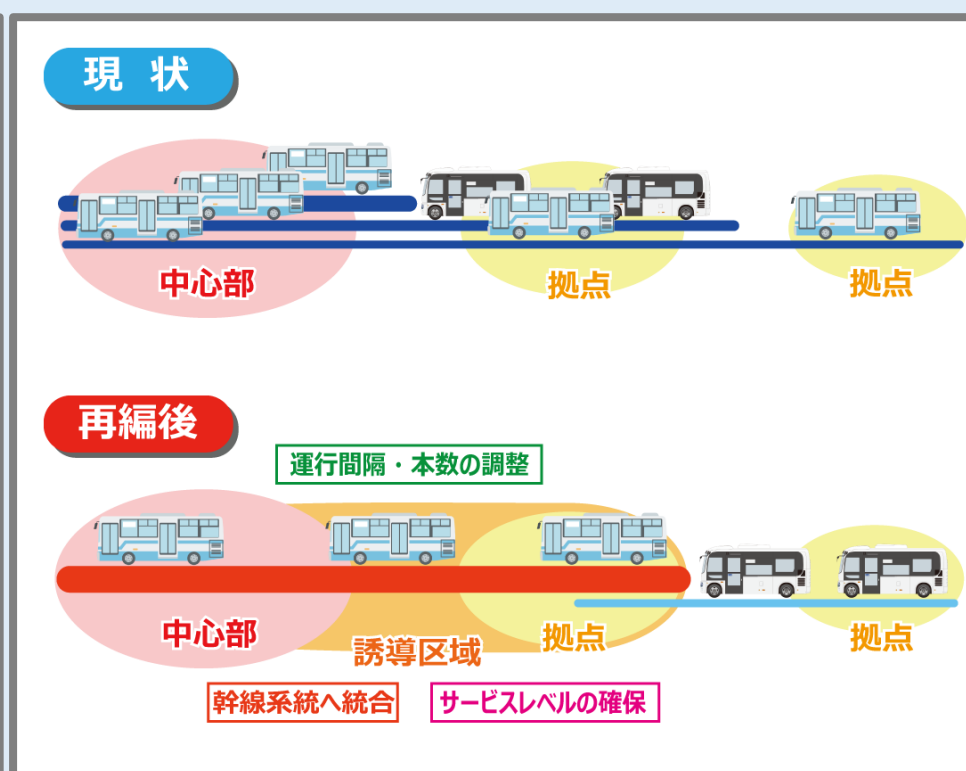
路線バスネットワークの再構築

- 概要**
- ・ 階層ごとに役割分担を明確にした公共交通ネットワークの構築にあたり、効果がより期待される**路線バスを中心にネットワークを見直す**。
 - ・ 鉄道と並行する区間については、鉄道の速達性・輸送力を活かし、**交通結節点にて路線バスと接続するネットワークの形成や幹線系統と支線系統を分離**し、運行の効率化を図る。
 - ・ 路線バスが重複する区間については、**居住誘導区域を設定している区域を軸として重複路線を統合**することで、分かりやすいネットワークとする。
 - ・ これらと併せて、**盛岡市中心部に流入する運行形態を見直す**ことで、都市圏全域の乗務員の確保や路線の維持、幹線系統の強化を図る。

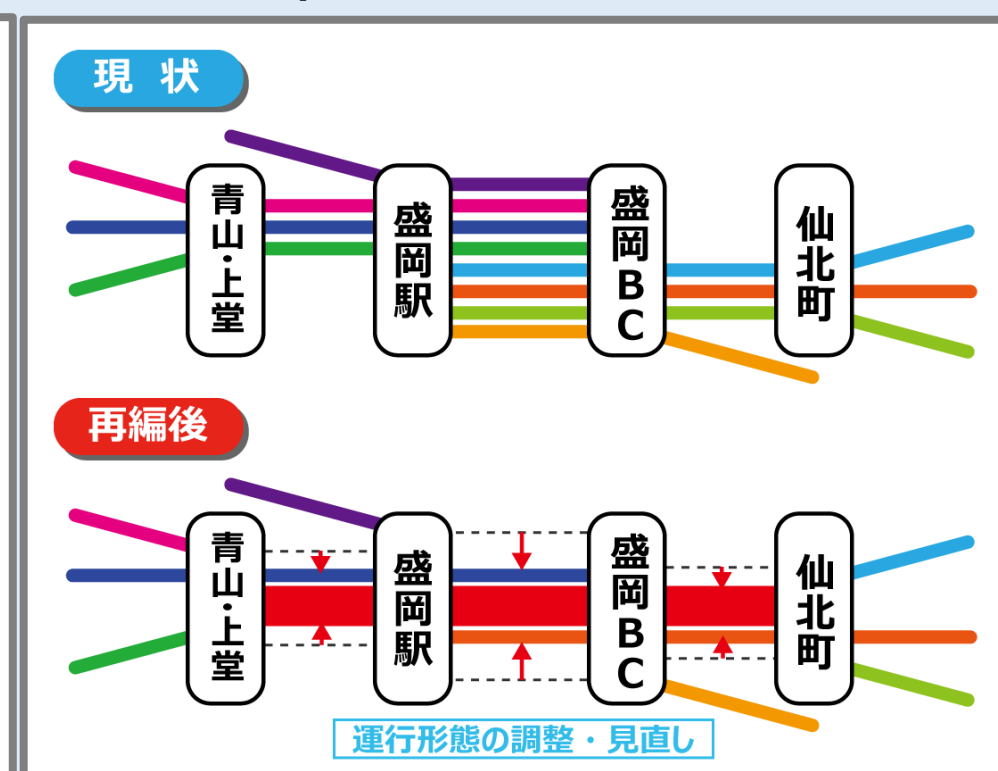
幹線と支線の系統分離



重複路線の統合



盛岡市中心部の運行形態の調整



事業主体 盛岡市・滝沢市・矢巾町 : 交通事業者・広域幹線路線沿線自治体との協議、ネットワーク案の検討・提案
バス事業者 : 盛岡都市圏との協議、収支状況・ODデータの提供、運行に関する助言
タクシー事業者 : 支線系統の運行、幹線系統との連携
鉄道事業者 : 路線バスとの交通結節点での連携

スケジュール 【実施】
令和7年度～ : 地域公共交通利便増進実施計画の策定
令和8年度～ : 路線バスネットワークの再構築に関する実証運行
令和9年度～ : 本格運行

【路線バス】
鉄道並行路線のネットワークの見直し

【路線バス・タクシー】
重複区間におけるバス路線の集約

➡事業者個別協議
にて調整

【協議】実施施策のイメージについて②

②鉄道・路線バス不便地域における移動手段の確保

地域公共交通利便増進事業として実施を検討

フィーダー系統の充実による郊外の移動手段の確保

- 概要**
- ・ 幹線系統の利用者の確保や主要結節点と郊外部を連絡する移動手段の確保に向け、重複路線の統合による輸送資源の配分や閑散時間帯のタクシー車両等を活用し、**フィーダー系統の充実**を図る。
 - ・ 地域内交通における自動運転車両の活用やパーソナルモビリティの活用等の**新技術の導入可能性を検討**する。

事業主体 盛岡市・滝沢市・矢巾町：移動需要の整理、フィーダー系統のネットワークの検討、新技術導入に向けた検討

バス事業者：フィーダー系統の運行

タクシー事業者：フィーダー系統の運行、地域内交通への参画

住民：積極的な公共交通利用

スケジュール 【検討】

令和7年度～：新技術の導入可能性の検討

需要や地域特性に応じた交通手段の導入・再編

- 概要**
- ・ 滝沢市内の福祉バス・患者輸送車の再編により、地域内の移動手段を確保する。
（方向性①に既出）
 - ・ スクールバスや患者輸送バス等の**既存の交通手段の見直し**により、**地域内交通の効率化**を図る。
 - ・ **公共交通に準ずる輸送サービスを提供している事業者と連携**し、地域内交通への協力・参画を促進させることにより、鉄道・バス不便地区による移動手段を確保する。

事業主体 盛岡市・滝沢市・矢巾町：フィーダー系統のネットワークの検討、利用状況の整理・分析

バス事業者：フィーダー系統の運行

タクシー事業者：フィーダー系統の運行、地域内交通への参画

住民・地元企業：積極的な公共交通利用、地域内交通への協力・参画

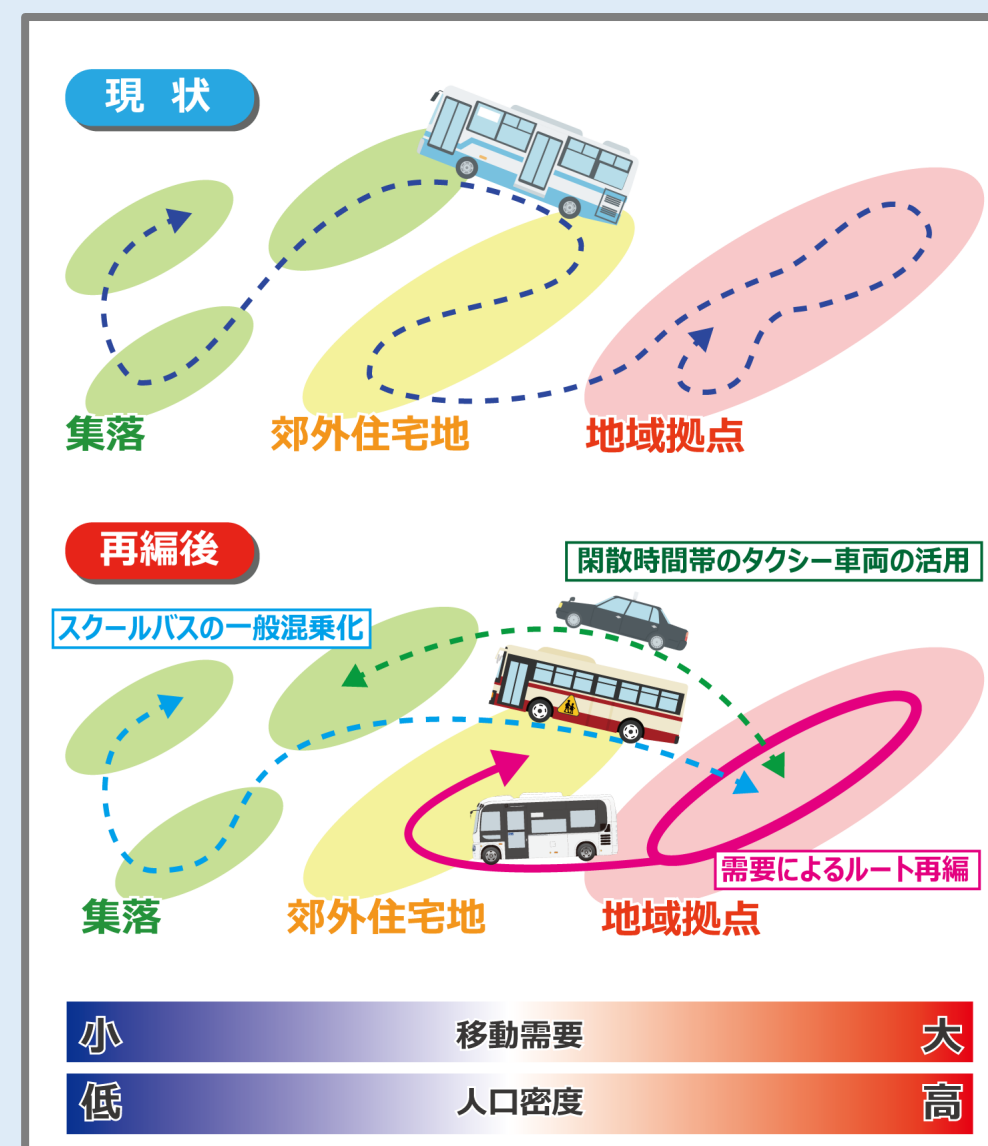
スケジュール 【検討・実施】

令和7年度～：フィーダー系統の見直し・新設に関する検討、協議・調整

令和9年度～：フィーダー系統の見直しに関する実証運行

令和10年度～：本格運行、利用状況のモニタリング

既存の交通手段の見直し・活用



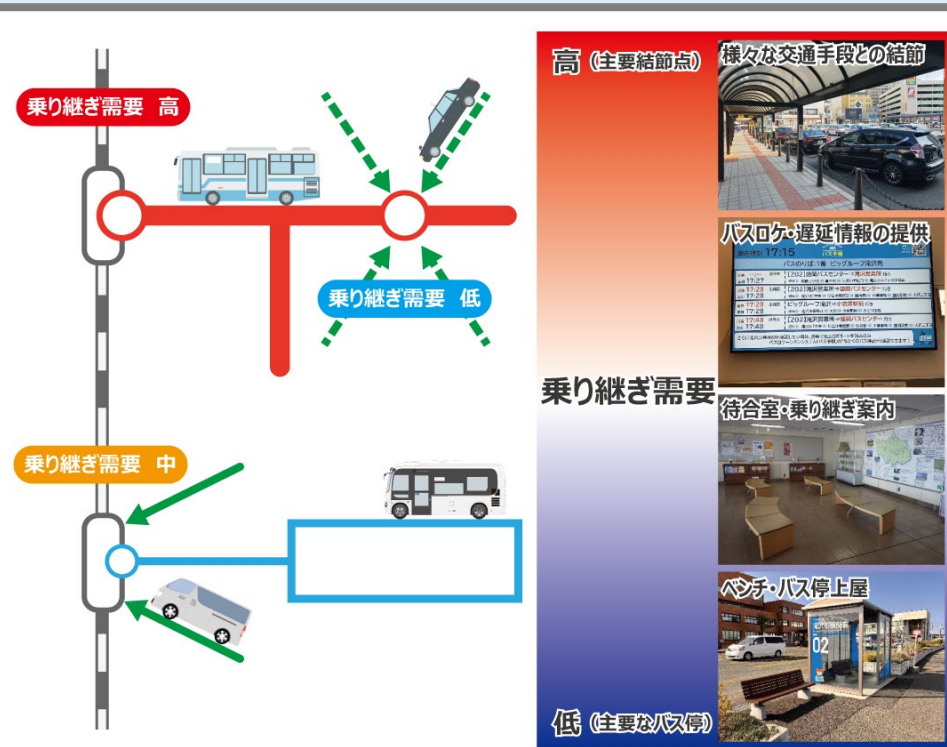
【協議】実施施策のイメージについて③

④交通結節点の利便性・機能性向上

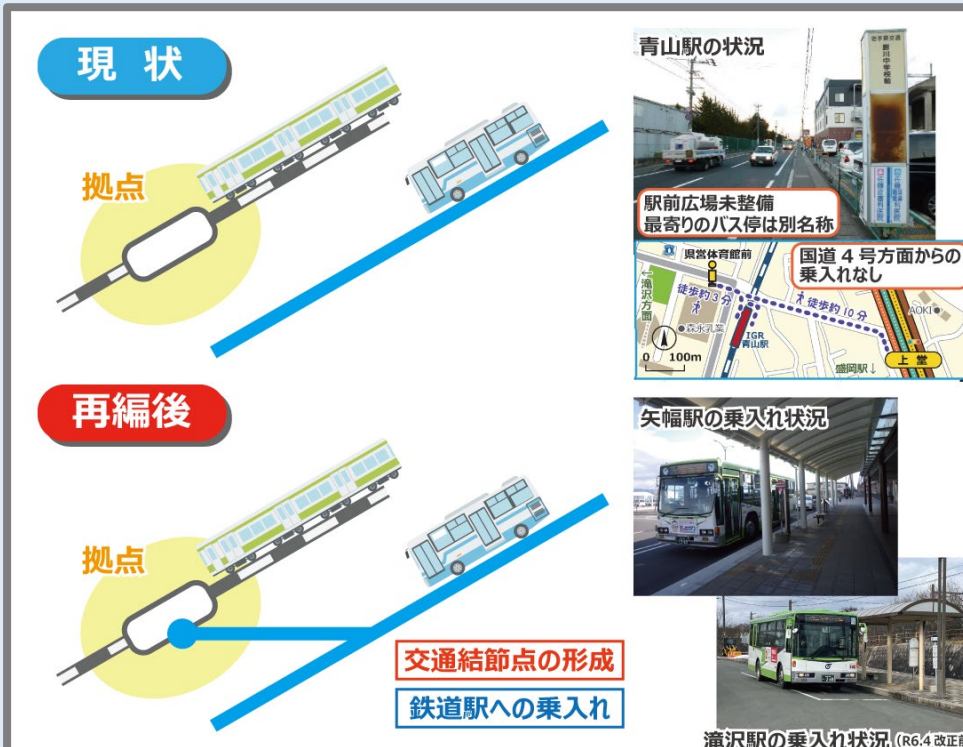
乗り継ぎを促進する交通結節点の機能向上

- 概要**
- 「乗り継ぎ」を主体とした公共交通ネットワークの構築には、乗り継ぎによる利便性の大幅な向上と乗り継ぎ負担の軽減が必要となる。乗り継ぎ負担の軽減のため、**交通結節点の分類ごとにどのような機能が必要かを検討し、不足する機能や設備を整備する。**
 - 駅前広場等が整備済みであっても路線バスの乗入れがない箇所があるため、**交通結節点としての活用を検討する。**
 - 立地適正化計画における誘導区域**については、交通結節点周辺へ**立寄り施設や交通手段と連携するための機能の誘導を促進する。**

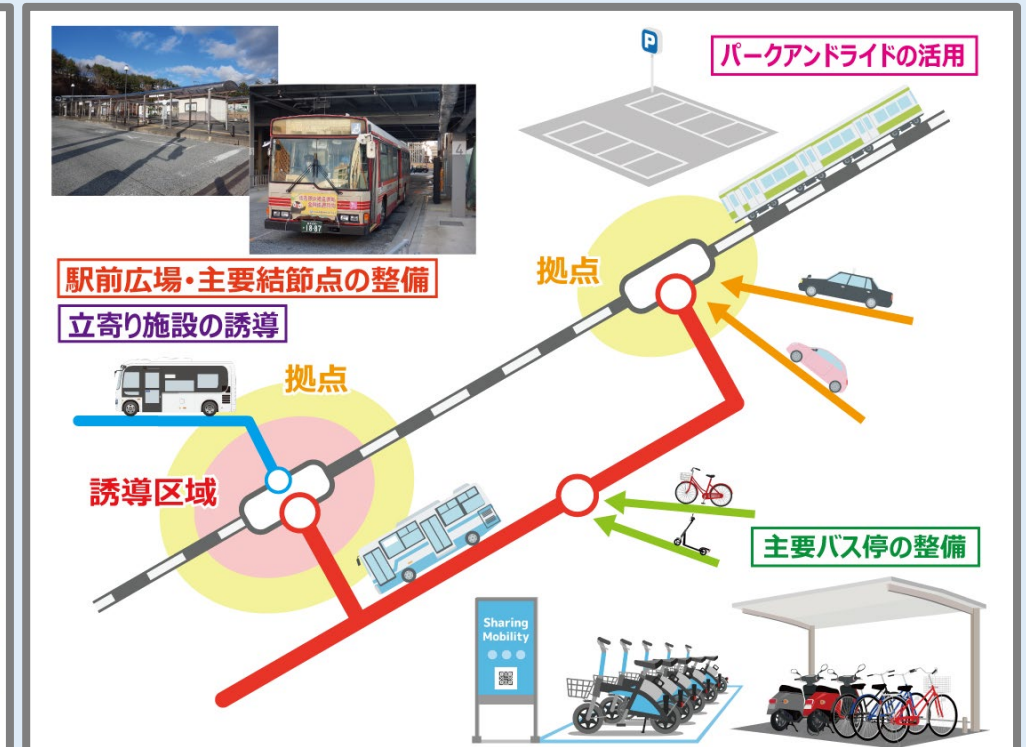
交通結節点に必要な機能や設備の検討及び整備



路線バスの鉄道駅への乗り入れ



交通結節点・主要拠点の整備



- 事業主体**
- 盛岡市・滝沢市・矢巾町 : 交通事業者との協議、都市計画部署・道路部署との調整、交通結節点の機能・設備の検討
 - バス事業者 : 盛岡都市圏との協議、交通結節点の整備に関する助言、バスロケ等の情報提供
 - 鉄道・タクシー事業者 : 交通結節点の整備・活用に関する協議・助言、路線バスとの交通結節点での連携
 - 商業・観光関係者 : 交通結節点の活用や連携に関する協議・助言、交通結節点の拠点性向上

スケジュール【検討・実施】

- 令和7年度～ : 地域公共交通利便増進実施計画の策定
- 令和8年度～ : 路線バスネットワークの再構築に関する実証運行
- 令和9年度～ : 実証実験結果を踏まえ整備に向けて検討

鉄道駅・主要結節点の整備

乗り継ぎ負担の軽減

交通結節点の中から、
具体検討箇所を
交通事業者との協議にて調整

【協議】実施施策のイメージについて④

⑤ 乗り継ぎの円滑化

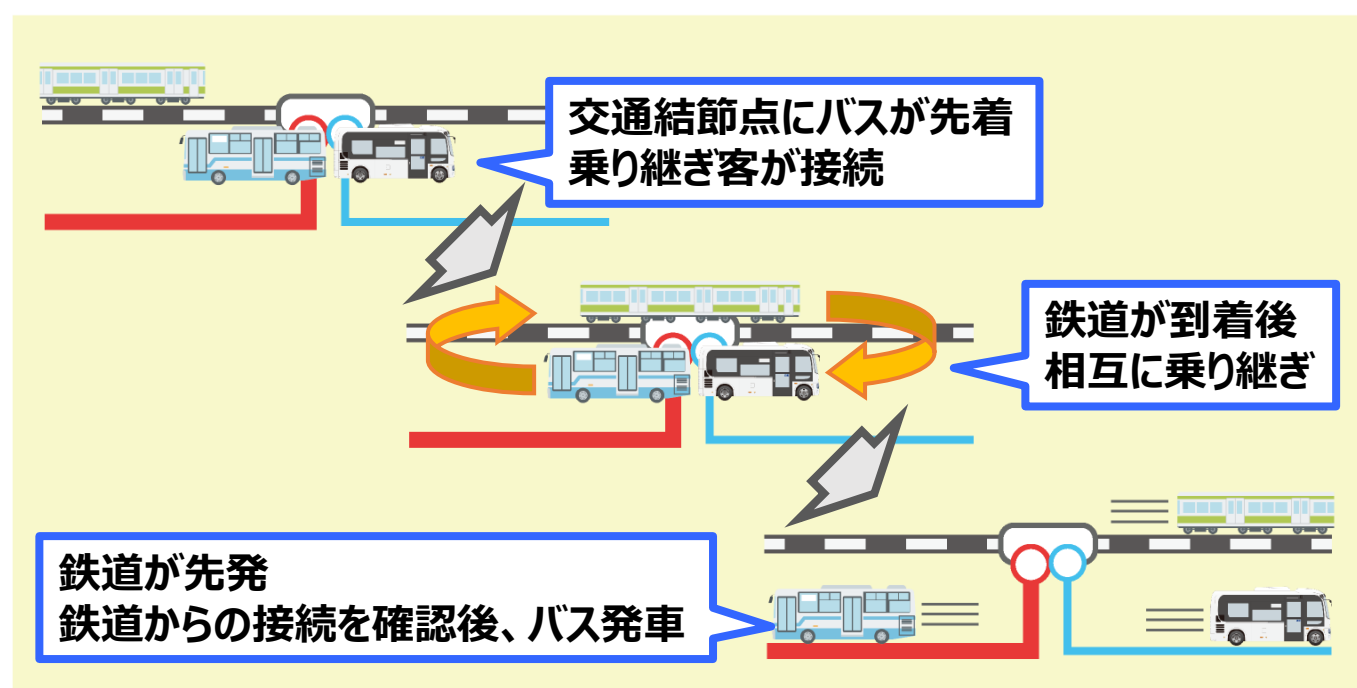
乗り継ぎを考慮した接続状況の改善

- 概要**
- 交通結節点において鉄道・路線バス間、幹線路線バス・フィーダー系統路線バス、さらにタクシー車両を活用した交通手段との**乗り継ぎ利便性**を考慮した**ダイヤ設定の見直し**を図る。
 - 接続状況の改善にあたり、交通結節点の動線、乗り継ぎ必要時間、待合環境等を考慮し、**適切な接続時間の確保・短縮**を図る。

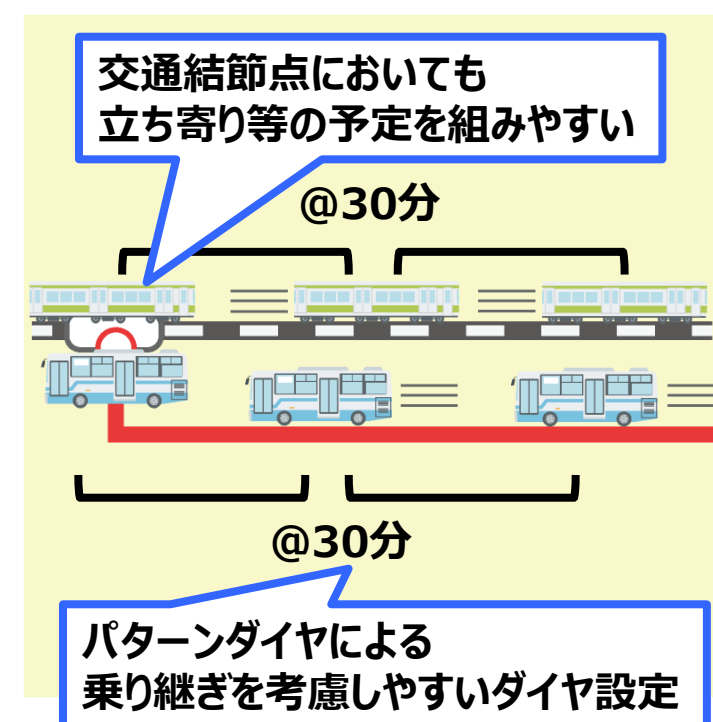
施策の方向性①と併せて実施することで
地域公共交通利便増進事業として実施を検討

接続時間短縮の例

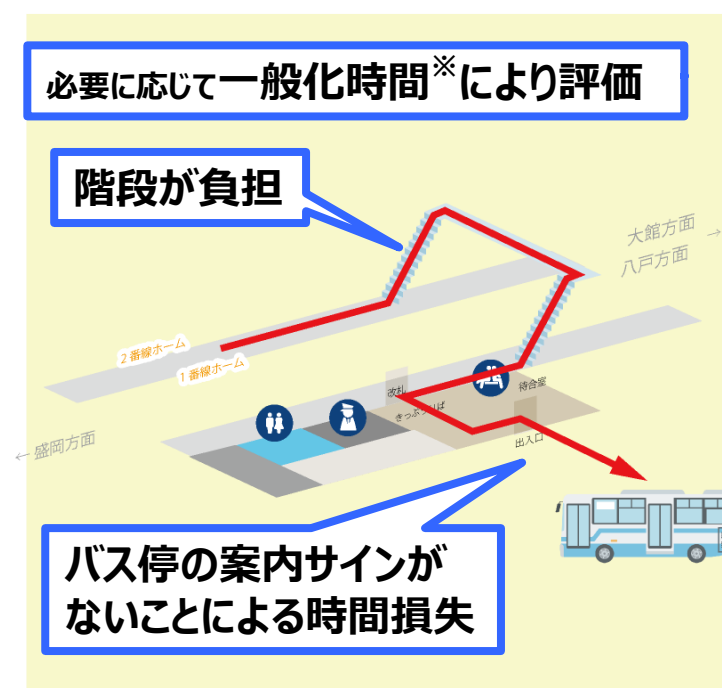
乗り継ぎを考慮した運行ダイヤ設定



パターンダイヤによる接続



乗り継ぎ動線・時間の評価



※一般化時間：交通手段の利用者の移動にかかる総合的な時間のことを指す。実際の移動時間だけでなく、待ち時間、乗り換え負担、アクセス時間、案内誘導等の要素を時間に換算して考慮に入れたものである。

- 事業主体**
- 盛岡市・滝沢市・矢巾町：交通結節点におけるダイヤ接続の調整
 - 鉄道事業者：鉄道路線のダイヤ検討（接続元となるダイヤの決定）
 - バス事業者：接続ダイヤの検討における助言・協力、幹線路線バス・フィーダー系統路線バスのダイヤの調整
 - タクシー事業者：鉄道・路線バス等の交通手段との連携、乗り継ぎ需要に関する助言

- スケジュール** 【実施】
- 令和7年度～：可能な交通結節点から接続ダイヤ調整に向けた協議を実施、ダイヤ改正のタイミングに合わせて見直し
 - 令和8年度～：路線バスネットワークの再構築に関する実証運行に合わせた接続状況の見直し
 - 令和9年度～：実証実験結果を踏まえた本格運行に合わせた接続状況の見直し

【協議】実施施策のイメージについて⑤

⑥利用しやすい公共交通サービスの提供

鉄道駅・バス停の更新・整備

バス停名称等の統一

- 概要**
- ・ 鉄道駅や主要なバス停について、**利用状況に応じて設備の整備**を進める。
 - ・ 鉄道駅の待合室や設備、バス停の上屋や設備等の機能改善を図る。
 - ・ 鉄道駅・バス停の更新・整備と併せて、**バス停名称等の統一**を図り、**分かりやすい案内誘導**を行う。

事業主体 盛岡市・滝沢市・矢巾町：鉄道駅・バス停の更新・整備の検討・実施、
バス停名称等の統一に関する協議・調整

交通事業者：鉄道駅・バス停の更新・整備における助言・協力
バス停名称等の統一に関する協議・実施

スケジュール 【実施（継続）】
令和7年度～：更新・整備の検討、交通事業者との協議・調整
令和8年度～：更新・整備の継続、可能な箇所から名称変更

バス停の案内・情報提供の一元化

**施策の方向性①と併せて実施することで
地域公共交通利便増進事業として実施を検討**

- 概要**
- ・ バス停における案内サインや車両の掲示、デザイン等を含めた**わかりやすい公共交通情報の提供**を目指す。
 - ・ 運行会社・路線・方面により複数の乗り場が設置されている主要なバス停や交通結節点については、案内サインの統一や色分け・路線番号や記号等を用いて、乗り間違いを防ぐ。
 - ・ バスロケーションシステム等を活用した情報提供の一元化を図る。GTFS-RTデータを活用した運行状況や交通手段・事業者間を跨ぐルートでも不便のない案内誘導に対応する。

事業主体 盛岡市・滝沢市・矢巾町：案内・情報提供の一元化に向けた協議・調整、
案内・情報提供の一元化に関する検討、データの統合

交通事業者：案内・情報提供の一元化に向けた検討・協議、
データの作成・活用、ダイヤ・運行情報等の提供

スケジュール 【実施（継続）】
令和7年度～：可能な事業より継続実施

バス停の更新整備

柳新道バス停（バス停柱の乱立）



バス停柱の統合

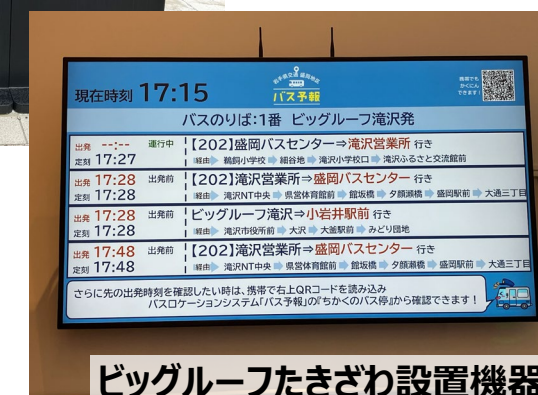
バス停上屋の整備

統一した案内誘導

事例：仙台市交通局

バスロケーションシステムの活用

盛岡駅前設置機器



ビッグルーフたきざわ設置機器

【協議】実施施策のイメージについて⑥

⑨公共交通の利用促進

公共交通マップの作成・配布

- 概要**
- これまで3市町で個別に作成していた公共交通マップを3市町合同で作成し、**情報の整理、情報提供の一元化や作成・確認作業の効率化**を図る。
 - 作成した公共交通マップは主要な交通結節点に掲示するほか、利用者に配布する。

事業主体 盛岡市・滝沢市・矢巾町：公共交通マップの作成、交通事業者との調整
交通事業者：公共交通マップに記載する情報の提供

スケジュール 【実施（計画期間内・時期要調整）】
令和7年度～：3市町合同作成に向けた協議・調整
令和8年度～：公共交通マップに記載する情報の整理、公共交通マップの作成、公共交通マップの校正・確認

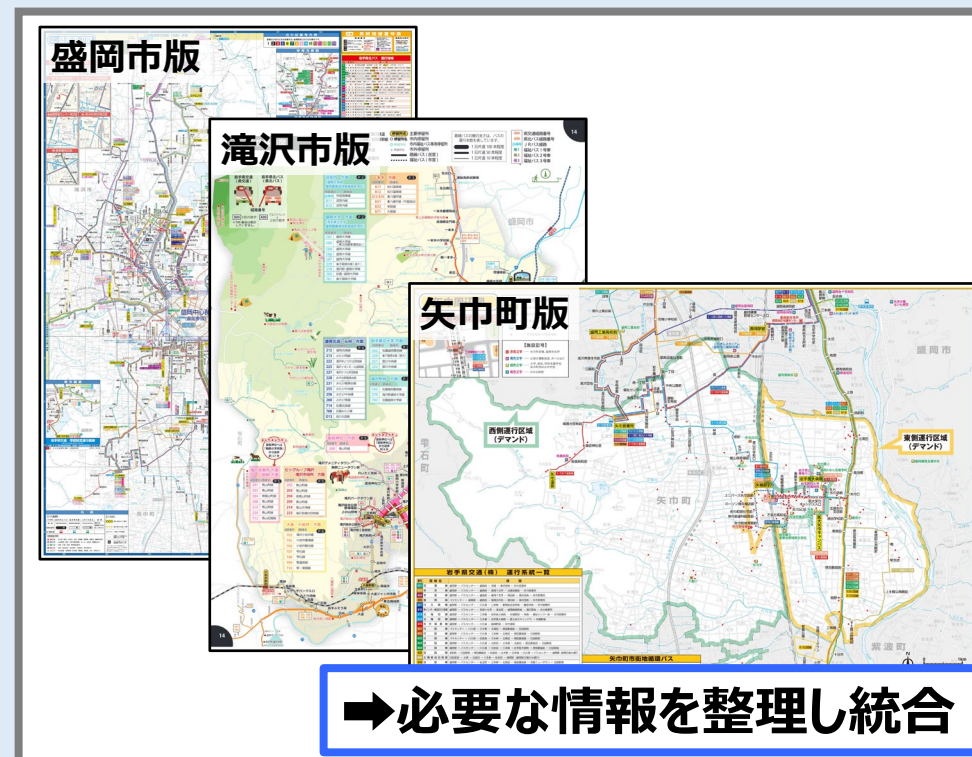
公共交通関連イベントの積極的な活用

- 概要**
- 3市町で個別に開催していた公共交通関連イベントについて、3市町共同での開催により広く情報発信・利用促進を行う。
 - イベントを通して住民が公共交通に触れる機会を増やし、公共交通に対する意識醸成を図る。

事業主体 盛岡市・滝沢市・矢巾町：公共交通関連イベントの開催、情報発信
交通事業者：公共交通関連イベントの開催準備・協力
住民・利用者：イベントへの積極的な参加

スケジュール 【実施（継続）】
令和7年度～：3市町合同開催に向けた協議・調整
令和8年度～：公共交通関連イベントの開催

公共交通マップの作成



公共交通イベントの開催



【協議】実施施策のイメージについて⑦

⑪地域連携の推進

住民との意見交換会の実施

- 概要**
- ・ 住民が公共交通の現状を正しく認識し、主体的に関わるために**地域単位の意見交換会を開催**する。
 - ・ 公共交通という特性上、個人の意見や移動ニーズではなく、**地域としての意見を取り込める仕組みづくりや体制を構築**する。

事業主体 盛岡市・滝沢市・矢巾町：公共交通に関する情報提供、意見交換会の開催
交通事業者：公共交通に関する情報提供
利用者（住民）：積極的な議論への参加、地域の意見とりまとめ

スケジュール 【実施（継続）】
令和7年度～：対象地区と調整し、継続して意見交換会を実施

地元大学・高校と連携した公共交通施策の検討

- 概要**
- ・ 地元大学や高校への出張講義や公共交通の現状を教材として取り上げることにより、**若い世代の公共交通の意識醸成**を図る。
 - ・ 講義を通して学生・生徒から挙げた公共交通施策や意見は、必要に応じて地域公共交通会議にて報告し、施策実施の可否を検討する。

事業主体 盛岡市・滝沢市・矢巾町：公共交通に関する講義の実施・情報提供
利用者（学生・生徒）：積極的な議論への参加、公共交通施策の提案

スケジュール 【実施（継続）】
令和7年度～：対象となる大学・高校と調整し、継続して講義や情報提供等を実施、公共交通会議にて報告・協議

住民代表者ワークショップ等の開催



地元大学と連携した公共交通施策の検討



【協議】都市圏計画への実施施策の記載イメージについて

・計画には都市圏実施施策には都市圏として共通する事業概要・概念を示し、市町実施施策には具体的な実施箇所や手法を整理する。

実施施策の記載イメージ

基本方針・目標
ごとに整理

都市圏
実施施策では
施策の方向性の
概念を整理

事業概要として
都市圏で共通
する実施内容を
整理

実施主体、
計画期間内の
スケジュール
については
都市圏で共通

第5章 実施施策					
2. 目標の達成のために取り組む事業					
■基本方針 1 限りある輸送資源の最適化による 持続可能な公共交通ネットワークの形成					
目 標① 交通モードの役割に応じた最適なネットワークの形成					
方向性① 公共交通ネットワークの再構築					
- 盛岡都市圏における公共交通が持続可能な状態を維持できるように、鉄道、路線バス、タクシー等の公共交通事業者が連携した公共交通ネットワークを構築します。 - ネットワークの再構築にあたり、交通結節点となる主要結節点や乗換拠点において、交通手段を相互に連絡できるように乗り継ぎ利便性を向上させ、乗り継ぎ負担の軽減や運行の効率化を図ります。 - 運行の効率化と併せて、公共交通の移動需要への対応やまちづくりとの連携を踏まえ、路線バスやタクシー等による公共交通ネットワークの確保が求められる地区については、戦略的な路線の設定や運行本数の増便等を検討します。					
事業①-1 都市圏実施施策 鉄道の利活用・利便性向上					
概要 - 鉄道は、盛岡都市圏と圏外を連絡する中長距離の移動を担うとともに、都市圏内の拠点間の移動を担う基幹ネットワークとしての機能を持つことから、鉄道の利用促進を図り今後もその機能を維持します。 - 鉄道の速達性や輸送量の大きさを活かすとともに、さらなる利便性の向上を図るため、運行本数や運行間隔の適正化等を鉄道事業者、沿線自治体と継続的に協議します。					
実施主体 盛岡市・滝沢市・矢巾町、沿線自治体、鉄道事業者					
実施期間 令和 7 年度 令和 8 年度 令和 9 年度 令和 10 年度 令和 11 年度					
計画策定 実証運行 (実施)本格運行					

都市圏実施施策と
関連する市町施策を
施策の方向性ごとに
まとめて記載

実施事業の
内容について、
具体的な路線等の
実施箇所や手法
についても整理

方向性①	公共交通ネットワークの再構築				
事業①-A	市町実施施策 広域幹線路線の維持				
概要	立地適正化計画との連携により、<u>鉄道駅周辺への誘導施設の整備や居住誘導を推進する鉄道駅を拠点としたまちづくりを進め、安定的な利用者の確保を図ります。</u>				
実施主体	盛岡市(立地適正化計画の推進)、滝沢市・矢巾町(立地適正化計画の策定)、鉄道事業者、沿線住民・利用者				
実施期間	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度
鉄道駅を拠点としたまちづくりの展開					
実施(継続)					
事業①-B	市町実施施策 都市圏内移動の利便性向上				
概要	- JR 田沢湖線の運行間隔の適正化として、<u>日中時間帯の運行間隔を揃えることにより、沿線の利便性を向上させるとともに、前潟駅を活用したパーク・アンド・ライドの推進に向け、協議・調整を実施します。</u> - JR 東北本線や IGR いわて銀河鉄道線において、<u>毎時の発着時間を揃えるパターンダイヤ化により、沿線の利便性の向上や公共交通利用の分かりにくさの軽減、交通手段間の接続しやすさの改善に向け、協議・調整を実施します。</u>				
実施主体	盛岡市・滝沢市・矢巾町(鉄道事業者との協議・調整)、鉄道事業者(ダイヤの調整)、バス・タクシー事業者(接続に関する協議・調整)				
実施期間	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度
JR 田沢湖線における運行間隔の適正化					
検討・協議 実証運行 協議・調整 実施					
JR 東北本線・IGR いわて銀河鉄道におけるパターンダイヤ化					
協議・調整 試験運行 協議・調整 実施					

スケジュールは
事業別に記載

【協議】都市圏計画構成（案）について

- ・ **法定記載事項**に加えて、現計画の実施状況の整理による都市圏計画の必要性や都市圏や各市町にて実施する施策の区分等を整理する。

盛岡都市圏地域公共交通計画 構成（案）

第1章 計画の概要

- ・ 計画の趣旨
- ・ 計画の区域と期間 **法定記載事項**
- ・ 関連計画・現計画の取組状況

- ・ 都市圏での地域公共交通計画の策定に至った**背景や目的**を記載する。
- ・ 法定記載事項の計画区域や期間を整理するとともに、**3市町の現計画の取組状況**から都市圏としての計画の必要性等を整理する。

第2章 盛岡都市圏の公共交通の現状・課題

- ・ 公共交通の現状
- ・ 住民の意見
- ・ 交通事業者の意見
- ・ 移動・公共交通の特性
- ・ 地域公共交通の課題

- ・ 公共交通の現状を含む**盛岡都市圏の概況**を整理する。
- ・ 令和5年度に調査を実施した盛岡都市圏の公共交通の現状から、公共交通の特性や課題につながるアンケート調査や住民ヒアリング調査、交通事業者ヒアリング調査等の結果を抽出して整理する。

第3章 基本理念と基本方針

- ・ 基本理念
- ・ 基本方針 **法定記載事項**
- ・ 将来のネットワークのイメージ

- ・ 盛岡都市圏の公共交通が目指すべき将来像を、**基本理念と基本方針**として整理する。
- ・ **将来ネットワークのイメージ**をネットワークの役割、交通結節点の設定とともに示し、現況のネットワークから変更箇所が分かるように記載する。

第4章 目標

- ・ 基本目標 **法定記載事項**
- ・ 数値目標 **法定記載事項**

- ・ 基本方針に即した目標を定め、**実施施策につながる数値目標**を整理する。
- ・ 数値目標は、毎年度評価する項目と中間年次・計画更新時に評価する項目を複数設定する。

第5章 実施施策

- ・ 実施施策（都市圏実施施策・市町実施施策） **法定記載事項**
- ・ 施策の展開

- ・ 目標を達成するために必要となる実施施策について、基本方針・目標から方向性に区分するとともに、**都市圏実施施策と市町実施施策に整理**して記載する。
- ・ 実施施策には、実施主体（役割分担）、実施スケジュールを記載する。

第6章 評価・計画推進

- ・ 評価・検証
- ・ 進行管理と推進体制 **法定記載事項**

- ・ **計画の達成状況の評価・検証等の進行管理とマネジメント**を繰り返すことで更なる改善を行う推進体制、モニタリング方法を構築することを示す。
- ・ **今後の協議会の開催スケジュール（案）**等も記載する。

参考資料

- ・ 令和5年度に実施した各種調査の概要や調査結果、移動実態等の分析結果、地域別の公共交通の状況や計画策定までの流れ等を整理する。

【協議】今後の計画策定スケジュールについて

・第6回公共交通会議にて計画素案の提示を予定しており、計画素案の決定に向け各委員には協力をお願いしたい。

